

2019年度第8回環境フィールドスクール（12/21）

「火山の災害と恵み」が行われました。

12月21日（土）の第8回環境フィールドスクールは、「火山の災害と恵み」をテーマに、島原市と南島原市で実施しました。島原半島ジオパーク協議会事務局の大野希一次長の解説により、午前中島原城の石垣の話からスタートし、そのあと1792年の島原大変と1990-1995年雲仙普賢岳噴火の被災地域を訪ね、災害の状況やその後の復興のようすを見学してまわりました。

午後は、南島原市布津周辺のまち歩きにより島原大変の津波について詳しく学びました、最後に島原市内のまち歩きを行い、島原大変の供養塔の見学のほか、湧水や温泉に代表される火山の恵みについても詳しく学びました。



島原城の石垣



土石流被災家屋保存公園



熊野神社



宝篋印塔型流死供養塔